


事務事業名		福祉灯油事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	0141 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	1121 地域福祉の構築							
	基本事業名	0111 自立を支える地域福祉推進体制の充実							
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和50 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入		01 3 1 1 08			
所属	部課名	生活福祉部保健福祉課							
	係名	福祉推進係	電話 27-3111 内線 181						
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 歳末助け合い運動の一環として、毎年11月下旬に大船渡市社会福祉協議会を通じ、民生委員・児童委員に担当地区内の低所得者世帯を調査依頼し、該当世帯に対し灯油引換券2枚(18リットル2缶分)を贈呈して、年末年始の厳寒期に備えていただく。 事業費は、灯油代実費として支出される。 平成20年度は、灯油代として、地域商品券を1世帯当たり10枚(5,000円)配布した。						全体計画 (期間限定複数年度のみ)			
						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
							財源内訳	都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
							事業費計 (A)	0	
						人件費	正規職員従事人数		
							延べ業務時間		
							人件費計 (B)	0	
						トータルコスト(A) + (B)		0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) 市内の低所得者世帯に対し、灯油引換券2枚を贈呈するとともに、利用者 (石油店) からの請求に対する支払事務を行う。平成19年度は、原油価格高騰に伴う市民生活への影響を抑えるため、特例として低所得の高齢者世帯等も併せ灯油券3枚を贈呈した。 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 前々年度と同じ (前年度は特例であったため)		名称	単位	
		ア	灯油引換券贈呈枚数 (10枚/1世帯)	枚
		イ	支払事務枚数	枚
		ウ	使用世帯数	世帯
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (1) 義務教育終了前の児童がいる母子・父子世帯 (2) 65歳以上の寝たきり老人・痴呆性老人又は心身障害児者・精神障害者を介護している世帯 (3) 特に生活が困窮していると認められる世帯で、民生委員・児童委員が必要と認めた世帯 及び平成19年度の特例として、(1) 65歳以上の高齢者だけの世帯 (2) 18歳未満の児童がいる母子・父子世帯 (3) 重度障害者世帯 (4) 介護保険法に基づく要介護1以上世帯		対象指標 (対象の大きさを表す指標)		
		名称	単位	
		カ	対象世帯数	世帯
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 対象世帯の経済的負担 (厳寒期の燃料費) を軽減する。		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称	単位	
		サ	使用枚数 / 贈呈枚数	%
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 積極的に自立を支える活動をしてもらう。		シ	使用世帯数 / 対象世帯数	%
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円			3,515	3,647		
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	291	351	3,515	4,313	291	291
		事業費計 (A)	千円	291	351	7,030	7,960	291	291	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	10	10	50	10	10	10	
		人件費計 (B)	千円	40	40	200	40	40	40	
		トータルコスト(A) + (B)	千円	331	391	7,230	8,000	331	331	
活動指標			ア	枚	250	252	4046	15920	252	252
			イ	枚	213	220	3987	15920	250	250
			ウ	世帯	107	110	1376	1592	125	125
対象指標			カ	世帯	125	126	1488	1592	126	126
			キ							
			ク							
成果指標			サ	%	85.2	87.3%	98.5%	100.0%	99.2%	99.2%
			シ	%	85.6	87.3%	92.5%	100.0%	99.2%	99.2%
			ス							

事務事業ID	0161	事務事業名	福祉灯油事業
--------	------	-------	--------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和50年頃から、社会的に弱い立場に置かれている家庭の生活不安を取り除く一環として、越冬灯油の無償給付事業として開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 開始当初は、65歳以上の一人暮らし老人に、「福祉米」として米10kg、また、被保護世帯及び要保護世帯(低所得者世帯)に「福祉灯油」18リットル入3缶分を贈呈していたが、昭和60年度からは福祉灯油の対象者世帯を低所得者世帯のみとし18リットル入2缶分を贈呈することとした。 また、「福祉米」の贈呈は、平成9年度からは廃止した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・低所得者世帯の把握を、民生委員・児童委員に社会福祉協議会を通じ調査しているが、実態の把握に苦慮している。 ・低所得者世帯について、明確な基準を教えてほしいとの要望がある。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 対象世帯(低所得者世帯)の福祉向上に結びつく。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 低所得者世帯の経済的負担の軽減に関する事業であるため、公共の関与は妥当である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 対象世帯の抽出については、地区民生委員の判断に任せている部分が大きいため、明確な抽出基準(例えば、課税状況の確認等)を作成する等の検討の余地はある。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 経済的負担の軽減を図るためには、贈呈する量を増やす等の検討の余地はある。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 対象世帯の経済的負担の増大になり、生活の安定につながらなくなる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業)  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 対象が限定されるため、現時点では他の事業との統合はできない。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 事業費のすべてが灯油代なので、対象世帯または贈呈する量の縮小につながり、削減することは難しい。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 地区民生委員を通じて、対象世帯に配付しているため、これ以上の削減は不可能。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 低所得者世帯の経済的負担の軽減を目的としているため、受益者負担はない。 低所得者世帯の基準について、所得や課税状況等を確認した上で、決定すべきではないか。対象世帯の抽出方法を検討していく必要がある。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

事務事業ID	0161	事務事業名	福祉灯油事業
--------	------	-------	--------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 対象世帯の抽出方法や、贈呈する物品等を検討していく必要がある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 休止   <input type="checkbox"/> 目的再設定   <input type="checkbox"/> 事業統合・連携   <input type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善   <input type="checkbox"/> 効率性改善   <input type="checkbox"/> 公平性改善 )       </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象世帯の抽出方法や、贈呈する物品等を検討していく必要がある。</li> <li>景気の低迷や、母子世帯の増加により、対象世帯が増加している傾向にあり、事業費の増大が見込まれる。</li> </ul>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象世帯の増加、加えて、灯油代の値上がりにより、予算が不足する恐れがあるので、事業費の増大が必要になる。</li> <li>低所得者世帯の基準について、所得や課税状況等を確認した上で、決定すべきではないか。</li> </ul>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	保健福祉課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 事業の経緯や効果を把握した評価となっている。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 休止   <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定   <input type="checkbox"/> 事業統合・連携   <input type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善   <input type="checkbox"/> 効率性改善   <input type="checkbox"/> 公平性改善 )       </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>平成19年度から国の緊急対策事業を導入しているが、原油価格の安定化に伴い事業が廃止される可能性があり、その場合の市としての対応が求められる。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------